

鹿柴ろくさい
(王維おうい)

空山くうざん 人ひとを 見みず

但ただ 人語じんごの 響ひびきを 聞きく

返景へんけい 深林しんりんに 入いり

復また 青苔せいたいの 上うへを 照てらす

空山不見人 但聞入語響

返景入深林 復照青苔上

解説 王維の別荘のあつた輞川もうせんの山の奥深い境地を詠つたもの。

語釈 ※空山〓人氣のない山。※返景〓夕日の光。※青苔〓青い苔。

通釈 静まりかえつた山には、人かげ一つ見えない。だが、どこからともなく人の話し声が聞こえてくる。夕日の光が、深い林の中に差し込んで、木の根もとの青い苔を照らしている。